

概要

OnBase フォルダを使用すると、ユーザーは、書類を紙のフォルダで管理するような感覚でドキュメントを電子的に表示したり、整理したりすることができます。また、OnBase に備わっている機能やセキュリティをフォルダ管理に活用できます。さらにユーザーは、直観的にデザインされたインターフェースを使用して、慣れ親しんだ操作で簡単に関連ドキュメントにアクセスできます。しかも業務上のニーズやカテゴリーに応じてユーザーの介入なしにフォルダ構造が自動的に作成され、データが移入されます。

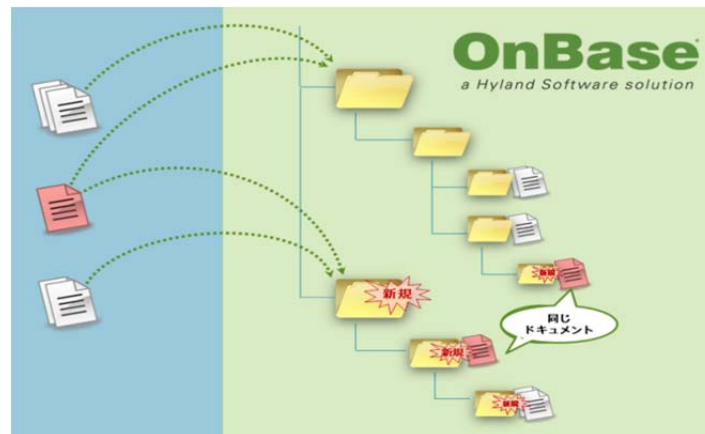
主なメリット

- 業務プロセスやユーザーのニーズに基づき、コンテンツを内容に応じて整理して表示
- ユーザーが使い慣れた紙のフォルダに類似した直感的なインターフェースで、ユーザーの生産性を最大化
- フォルダの作成、ドキュメントのファイリング、不足ドキュメントの識別を自動化して業務の精度を向上
- 関連ドキュメントを素早く検索でき、効率をさらに向上
- フォルダ、ドキュメントまたはキーワードレベルでセキュリティを提供し、アクセス権限を管理
- 手作業のファイリングに起因する混乱や間違いに関連するコストを削減
- ユーザーによる受け入れ率を向上させ、既存の IT 投資をさらに有効活用

アプリケーションの利用価値

- 通信記録管理：保険業界では、保険金の支払いが終了するまでにお客様と関係者間で相当なやりとりが行われます。こういった通信記録は、OnBase フォルダによって秩序正しく整理し管理できます。さらにこのフォルダにサブフォルダを作成し、やりとりの内容別に分類した上で、該当する保険金支払い案件と関連付けることができます。この通信記録用のフォルダは、保険金支払いフォルダ構造の全体の一部分で、その他にも多くのフォルダを作成し管理を効率良く行えます。
- 既存の紙文書の電子化：政府機関、例えば米国公営住宅局では、特定の利用者専用のフォルダを作成して重要な過去の資料を管理することができます。既存の紙文書すべてはイメージ化された上で、該当する利用者の過去の資料用フォルダに入れられ、自動的に日付順に表示されます。OnBase フォルダを使用することで、担当者は利用者ファイルから関連資料に簡単にアクセスできます。その結果、政府機関は過去の情報を維持した上で、古い紙文書を破棄することが可能になります。
- 記録の完全性確認：金融サービスでは、住宅ローン申請を完了させるために数々の書類が必要となります。フォルダテンプレートを適用すると、仮想チェックリストが作成され、住宅ローンのブローカーはローン申請を完了させる上で必要な書類が不足していないかどうか直ちに目分けることができます。

デザイン

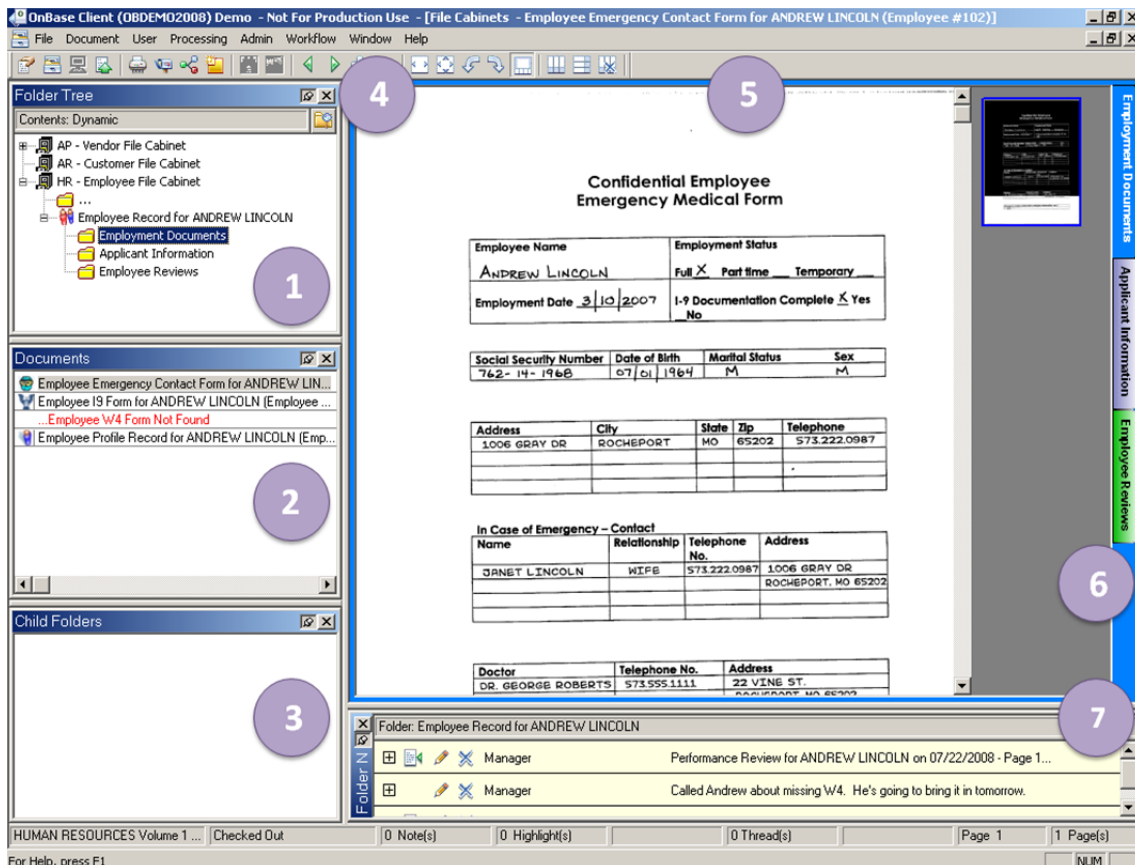


OnBase フォルダは、いったん格納されたドキュメントを、部門やユーザーのニーズに応じて設定可能な親しみやすいフォルダインターフェースを使って検索することを可能にします。多数のフォルダに同じドキュメントが含まれている場合でも、それらはドキュメントそのものへのポイントであり、実際に存在するドキュメントは1つだけです。そのため、ドキュメントが変更されると、全てのファイル場所に変更内容が反映されます。

主な特徴

- ・オートフォルダ機能：ドキュメントインポートをトリガして、自動的にフォルダ階層を作成
- ・ダイナミックフォルダ：キーワード値に基づいて該当するドキュメントを自動的にフォルダ内に表示
- ・タブ形式のインターフェース：実物のフォルダやバインダーで使用する色分けされたインデックスタブの様なタブ表示形式
- ・自動インデックス：フォルダにドラッグアンドドロップでインポートされたドキュメントは、キーワードを継承して自動的にインデックス作成
- ・フォルダテンプレート：フォルダコンテンツの表示をフィルタし、不足ドキュメントを視覚的に表示
- ・フォルダフィルタ：フィルタ条件をHTMLフォームで指定し、並べ替え可能な列表示形式でフィルタ結果を表示
- ・フォルダメモ：ドキュメントの特定ページへのブックマークが付いたメモをフォルダに追加可能
- ・関連フォルダ：関連するフォルダのファイルキャビネット間を簡単に行き来可能
- ・フォルダの場所表示：どの検索方法を使用した場合でも、ドキュメントが存在するすべてのフォルダを表示
- ・フォルダポップ：迅速な展開を可能にするURLベースのツールによって、フォルダインターフェースやビューアへのアクセスを拡大

インターフェース



1. フォルダツリー：ファイルキャビネットとフォルダ階層が表示されます。フォルダ検索やポップアップリストなどから選択したフォルダがツリーに表示されるとともに、先立って検索・表示したフォルダも引き続きツリーに表示されます。
2. ドキュメント：選択したフォルダ内のすべてのドキュメントを一覧表示します。フォルダテンプレートを適用するとドキュメント表示をカスタマイズして不足しているドキュメントを識別します。
3. 子フォルダ：選択したフォルダの子フォルダ（サブフォルダ）を表示します。
4. フォルダ検索：フォルダの種類およびキーワードによって検索します。
5. ドキュメントビューア：現在選択中のドキュメントまたはデフォルトでリストの一番上にあるドキュメントを表示します。
6. フォルダタブ：現在選択中のタブと同じ色が背景に使われます。
7. フォルダメモ：ドキュメントの特定ページへのブックマークが付いたフォルダメモを表示します。

実物のファイルキャビネットや紙のフォルダで紙文書を管理したり、Windows Explorer で電子ドキュメントを検索する際の概念を生かして作られた OnBase フォルダは、ユーザーの仕事の仕方を反映した、分かりやすく使いやすいツールです。OnBase フォルダは、通常の検索方法とはまた異なる、ドキュメントのグループ化と容易な検索を可能にするインターフェースを提供し、業務上のニーズに基づいたドキュメントの活用を実現します。OnBase フォルダは、様々な種類のドキュメントを一つにまとめて表示する上で優れた効果を発揮します。

また、フォルダの作成とドキュメントの移入（既存のドキュメントも含む）を自動化することで、フォルダ構造の整合性を維持し、ファイルの分類における精度を保つことができます。